令和６年度第２回やまぐち部活動改革推進協議会（概要）

日　　時	令和７年２月２１日（金）１４時００分から１６時３０分
場　　所	県庁３階　職員ホール
構成委員	学識経験者、山口県中学校長会、山口県高等学校長協会、山口県中体連、 山口県中文連、山口県吹奏楽連盟、山口県ＰＴＡ連合会、 山口県スポーツ協会、山口県都市教育長会、山口県町教育長会、 総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会
出 席 者	別紙参照
主な内容	（１）各市町取組進捗状況報告 （２）実証事業報告 ○山口市交流創造部　部活動地域移行推進室　副参事　赤野　誠 ○萩市教育委員会学校教育課　部活動改革推進室　室長補佐　松井　敏 主任　藤原　昌隆 （３）国の動向 ○スポーツ庁地域スポーツ課　課長補佐　竹河　信裕 （４）推進協議会委員による意見交換 テーマ：「これまで学校部活動において培われてきた教育的意義や役割を、地域クラブ活動において継承・発展させていくために、今後、学校と地域クラブ活動がどのように連携していくべきか。」
主な発言	○希望する教職員が、勤務終了後に速やかに地域クラブ活動の指導者として参加できるよう、生徒指導対応などの組織的な対応について、学校運営の体制を整えることが重要である。 ○主体が変わると責任の所在が曖昧になりやすく、トラブルやいじめが発生した際の連携体制の明確化が求められる。また、トラブルが発生した際に、誰が責任を取るのか、学校部活動との指導の一貫性についてはどのように確保をするのか、学校との連携の窓口をどこが担うのかを明確にすることが不可欠である。 ○既に行っている自治体もあるが、保護者をはじめ学校関係者への周知は、ホームページの活用や資料の配付などもあるが、体験入学などの機会を捉え、各市町の地域移行担当者が学校へ出向いて、直接説明をすることで理解が進むのではないか。 ○教職員が部活動に関わってきたことは、教育的な部分での効果が非常に大きかったので、地域クラブになっても子どもたちの成長に関わることが可能な教職員がいれば、積極的に指導に携わっていただきたい。一方で、子どもたちの安全・安心を担保するためにも、地域クラブの指導は、資格を持った指導者が指導するべきである。 ○「教育的意義」について、教員・保護者・地域によって認識が違うので整理が必要である。